
ヤニ

シャー芯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヤニ

【コード】

N8579R

【作者名】

シャー芯

【あらすじ】

.....

笑い声高らかにあげ、悲しみ隠す。

亡骸抱き寄せてそつと、目玉舐める。

狂気じみた瞳ひそかに、揺れてた。

枯れそう嘆く野草、自分を重ねた。

嫌だと一声なのに、舌がもつれて……

唯一の救い自傷、煙たがられる。

空が落ちて地が跳ねる、そんな世界夢をみる私。

馬鹿だね、知ってるそんなこと。

無意味な行為、存在価値ほしくて繰り返す。

解答がほしいの、正しい赤で治してね。

消えない魔法、白馬のピエロ。

飽食された子牛、ミルクがなくて焼かれ残る骨。

うるさい鼓動、誰かとめてよ……

砂時計みたいな足元くらむ、記憶わるくて。

私はだれって、それが特技ですって。

忘れたくて注射し、道化師に変身。

嫌だつてふる頭、中身はすでにとんじゃって。

瑠璃色とかじゃない、淡白でシンプルなもの。

揺れて消えるはずの幻想、いつしかそれに囚われた。

どこかで見かけた光が、夢だと知りつつも愛す。

流れる星ぶつかる矛盾、立ち尽くし止めてみる。

散らばったガラクタ、集めてはぶちまけた。

終わりにしたくない、時が過ぎてく。

いまが思い出に変わる、割れてしまつ月。

ふわりと香る、汐がひく。

こだまする声懐かしく、ヤニのように媚びりつく想い。

帰り路忘れて尋ねる、尽きた花火の儚さ。

利き手から冷えていく、爪先霧隠し。

どうでも良いよと、自由を指示する。

快楽を嫌い求めて、汚れる自身に酔いしれ。

呼ぶ声絶ちきり、ひとり桜を見つめるの。

幻で良いから、壊れてしまおうとしても。

ふわりはらりと堕ちて重なった、思い出をどっかもっ一度……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8579r/>

ヤニ

2011年10月4日19時40分発行